



北陸ブロック長

半田 隆彦 氏

医器販協 理事

株式会社半田 取締役相談役

北陸三県の人口は直近の5年間で6万4千人減少し、昨年300万人を切る一方で、2025年問題にむけ医療機関の機能の明確化・分化が着々と進行しているように思われます。人口10万人当たりのベッド数が3県とも全国平均を超えており、裏返せば医療機関に対しての医療機器の市場規模はこれ以上拡大しないことは当然と言えます。

北陸ブロックの会員企業数は現在福井県9社、石川県23社、富山県18社、合計50社ですが、事業環境の変化に伴い個人事業主の廃業等が進み漸次減少傾向にあります。

近年大規模病院は所謂価格ベンチマークシステム、共同購入等の導入を進めており、粗利率の低下の一因となっていますが、会員企業は納入価格だけではなく、それ以上の付加価値の創出に努力しています。

また、各県協会は災害時の医療機器供給について各々行政機関と連携する中で、医療機器販売業としての認知度や存在意義を高めています。今後医器販協として、中央官庁に対し当業界の現状や役割の認識等の啓もう活動において、これ迄以上推進していくことを望みます。